

## 議会による市民との談話室は終了しました

市民の皆さまが気軽に悩みごとや困りごとのご相談ができる場所として、平成30年度は駅北庁舎2階多目的スペースに場所を変え、平成30年8月から平成31年1月にかけて4回開催しました。

子どものあそび場や人口問題等について、市民の皆さまと直接意見交換を行うことができました。また、貴重なご意見をいただきありがとうございました。



## 勇退議員の紹介

平成31年3月議会を最後に5名の議員が勇退を表明されました。長い間市政発展にご尽力されたことに感謝し、その労をねぎらいたいと思います。(3月22日までに表明のあった議員)



**若尾 靖男 議員**

当選回数：7回  
(平成3年初当選)  
会派：自民クラブ



**加納 洋一 議員**

当選回数：5回  
(うち町議の当選回数:2回)  
(平成12年初当選)  
会派：無会派



**安藤 英利 議員**

当選回数：4回  
(平成15年初当選)  
会派：自民クラブ



**山中 勝正 議員**

当選回数：3回  
(平成19年初当選)  
会派：公明党



**山口真由美 議員**

当選回数：2回  
(平成23年初当選)  
会派：創生の会

## 編集後記

議会だより192号をお届けします。広報広聴研究会では、議会の活動をわかりやすく伝えるために取り組んでいます。

平成30年度の議会の活動で特徴的だったことは、総務常任委員会、経済建設常任委員会、厚生環境教育常任委員会の各常任委員会がテーマを持って活動したことです。

例えば、厚生環境教育常任委員会では、「子どもの困難に対して大人ができること、すべきこと」というテーマで1年間活動をしました。これは各委員から年間テーマを募集し、それをまとめたものです。同委員会でのこのテーマを説明した際、市の担当課にもこのテーマを投げかけました。児童虐待、不登校、いじめ、多くの子どもを取り巻く困難ですが、その子によって

困難は違う。まずは子どもの困難とは何だろうか、というところからスタートしました。東濃子ども相談センター所長に状況を伺い、視察には大阪府箕面市と大阪市西成区のにしなりこども食堂を訪れ、子どもの困難に対して大人が動いている姿を目の当たりにしました。そこに共通しているのは、「子どもの居場所を作る」ことに必死で動く大人の姿でした。平成30年11月に開催された、市民と議会との対話集会においても、このテーマで市民の皆様と話をしました。各委員はこの一年間、このテーマを念頭に置きながら活動しました。それは、議案の審議にも活かされ、市民と議会と執行部が同じ目的に向かい、深い議論ができ、想いを共有できた1年間でした。

広報広聴研究会

会長 森 厚 会員 渡部 昇 会員 三輪 寿子 会員 嶋内 九一  
副会長 石田 浩司 会員 古庄 修一 会員 井上あけみ